

令和6年度 進路だより



秋田県立秋田きらり支援学校

第1号

令和6年5月17日発行



自分づくりを応援します

校長 松井 智子



「明日への自分づくりを応援します」。これは4月に手渡された「進路のてびき」の表紙に書かれていた言葉です。「自分づくり」に、みなさんはどのようなイメージをもつでしょうか。私は、「自分がどのようにになりたいのか」を自ら考え選択しながら成長していくこと、そして「自分づくり」はずっと続いていくものではないかと考えています。

本校の「進路のてびき」をめくると、進路指導について学部ごとのページがあり、小学部のページには、子どもにとって「必要な力」を育むために4つのキーワードが挙げられています。この4つのキーワードは、「人との関わり」「生活に関すること」「意欲・前向きな態度」「自己理解」。これは、小学部はもちろんですが、中学部でも、高等部でも、そして卒業後も大切にしたいことです。いろいろな人と安心して関わることができれば、挑戦への後押しとなり、経験を広げることができます。そして経験を重ねていくことで、そのことが自信になり自分を知ることにもつながります。

今年度、小学部にかわいい10名の1年生が入学しました。廊下に掲示されている自己紹介カードには、自分の好きなこととして、友達や音楽、動くこと、絵本、ラジオなどが紹介されていました。他の学年や中学部、高等部にもそれぞれの好きなことがたくさん紹介されています。さて、これから先、どのようなことが書かれていくのでしょうか。友達や家族、先生、そして地域の方々など様々な人と出会い、関わり、対話しながらの「自分づくり」。「まずは、やってみよう」という前向きな気持ちで取り組める機会をつくり、一人一人の思いや願いを大切にしながら見守り励ますことが、挑戦を支えます。

どのような言葉をおかわすのか、どんな活動を共にするのか、「いま」の積み重ねが明日の自分、未来の自分をつくります。たくさんの人と出会い、様々な経験、学びを通して好きなことを見つけ、そして周りの人に知ってもらい、ぜひ楽しみながら豊かな「自分づくり」をしてほしいと願っています。これからも、保護者の皆様、地域の方々、関係機関の皆様と一緒に子どもたちの「自分づくり」を応援していきたいと思っております。





今年度も「進路だより」では、進路に関するいろいろな情報の発信、様々な疑問等への回答をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

さて、昨年度卒業した3年生の進路についてご紹介します。

【秋田きらり支援学校の進路（令和5年度 高等部卒業生6名）障害福祉サービス利用】

サービス名	進路先（所在地）	サービスの説明
生活介護	南秋つくし苑(八郎潟)、潟上ひまわりの里(潟上)、ひだまり(東通)、ナチュラルハウス(外旭川) 聖和(川元)、よつ葉(セキ内) 第二聖和(外旭川)、にのこ(牛島)	障害がある人の日中活動をお手伝いするサービス。食事や入浴、排せつなどのお手伝いをしたり、軽い作業や運動、生活するための力を高めるプログラムを行ったりする。 高齢者向けの施設だが、障害者を受け入れる基準を満たしている事業所「基準該当障害福祉サービス事業所」もある。
療養介護	あきた病院(由利本荘市)	医療と介護等を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理や看護、日常生活の世話をするサービス。



【進路のてびき～第7版～】を今年度発行しました。

卒業生の進路や各学部における進路指導、進路希望先に応じた進路指導の他、進路に関する各種情報を得やすくしましたので、是非ご活用ください。(QRコード等)



何か質問がありましたら、お気軽に担任へお話するか、玄関にある進路質問箱へご投函ください。



令和6年度 同窓会活動予定



	期日	内容
第1回	6月29日(土)	「オンラインしゃべり場」
第2回	7月27日(土)	「同窓会総会」「二十歳を祝う会」
第3回	9月14日(土)	・音楽活動「イツヨイ・ミュージック!」
第4回	11月2日(土)	・きらり祭見学
第5回	11月16日(土)	・スポーツ活動「イツヨイ・スポーツ!」

4月末に同窓会役員会が開催され、昨年度の活動内容や今年度の二十歳を祝う会の内容などを確認しました。また、役員会後には青年学級の活動内容を決定する企画委員会を初めて実施し、役員以外の同窓生や生涯学習センターの職員の方々も加わって活発な意見交換が行われました。その結果、青年学級の期日や場所、内容が決まりましたので、今から実施することが楽しみです。こんな風に卒業後も同窓会として、先輩方は積極的に活動しています。本紙面で、青年学級の様子をお伝えいたしますので、ご期待ください。